

御園小だよ！

平成25年8月27日
伊勢市立御園小学校

No. 73

校長室より

今年の夏休みも、あと一週間足らずとなりました。9月2日には、元気な子どもたちとの再会を楽しみにしています。

今年の夏休みを振り返ってみると、とにかく暑い一言につきるのではないのでしょうか。あつという間の梅雨明けのあと、少し涼しい日はあったものの、連日の猛暑と小雨には本当に閉口してしまいました。猛暑・酷暑・熱帯夜などの言葉がテレビのニュースや新聞紙上をにぎわせました。一方では、なかなか梅雨明けしない東北地方や、集中豪雨に見舞われた地方も多くありました。さらには小雨のため、水不足も深刻になっています。地域によっては、農作物に被害が出たところもあります。豪雨・小雨・酷暑・冷夏などの相反する言葉が、ほんの少し離れた場所で使われていました。



異常気象という言葉が使われるようになって、ずいぶん時間が経ちました。「100年に一度の〇〇」が毎年起こるようになりました。「今まで経験したことのないような〇〇」などの言葉が、連日場所を変えて使われています。いつの間にか、こんなことが日常になってしまう時がやってくるのでしょうか。

これからの日本を背負って生きる子どもたちのためにも、大人として今何をなすべきなのかを真剣に考える時期がやってきたのかも知れませんね。

早寝早起き朝ごはん！

前回のたよりでも書かせて頂きましたが、子どもたちの生活のリズムはいかがでしょう。夜更かしの習慣は残っていないでしょうか。毎朝昼前に起き出して、朝昼兼用の食事はしていないでしょうか。毎日、ゲームやテレビ三昧の生活になっていないでしょうか？9月になると、すぐに日常の学校生活が始まります。また、残暑の厳しい中で、運動会の練習も開始されます。そんな中で、生活のリズムが組み立てられないと、思わぬ怪我や体調を壊す原因にもなります。少なくとも朝はちゃんと起きられるように、また家族で朝食が取れるように、よろしくご指導ください。

PTA全国大会

今年は、いろいろな全国大会が伊勢市で行われます。夏休み中には、全日中（中学生のスポーツ全国大会）が三重県各地で開かれました。伊勢市でも柔道等が会場となりました。

そして、先週にはPTAの全国大会がサンアリーナを中心にして開かれました。たくさんのPTA会員の皆さんが、全国からこの伊勢市へお見えになりました。「伊勢も暑いですね。」と大汗をかきながら、大きなケースを抱えて愛媛からやってきたお父さん。「やっぱり伊勢は遠いね。」と笑いながら話す沖縄からみえたお父さん。「伊勢神宮は何時まで参拝できるのですか？」とお尋ねになった愛知県のお母さん。郷土の訛りも楽しい時間を過ごすことができました。

茶道体験教室

毎年恒例になっている茶道体験教室が、8月21日（水）に、山田奉行所記念館で行われました。この日は午前の部と午後の部に分かれての体験教室でしたが、全部で60人ほどの子どもたちが参加しました。

まずはじめに、お辞儀のしかたや畳の上の歩き方、正座のしかたや立ち方座り方など、普段何気なくしている起居振舞を教えてくださいました。「へえーっ」と感心することしきり、マナーの要素も強いのですが、実はたいへん合理的であることを知りました。左足の使い方一つで、背筋を伸ばしたままずっと立ち上がることができるのには驚きました。



このあと、お茶の頂き方や点て方なども教わりましたが、やはり動きに無駄がありません。長い茶道の歴史の中で、無駄を省き、質素で凜とした動きにまとめられていったのでしょうか。

約1時間半、子どもたちは真剣に、また緊張して取り組みました。正座に悪戦苦闘していた子もいましたが、帰っていく子どもたちの姿は、とても満足げでした。夏休みの素晴らしい思い出の一つになりました。

夏休み

麦わら帽子は もう消えた たんぼの蛙は もう消えた
それでも待ってる 夏休み
ねえさん先生 もういない 綺麗な先生 もういない
それでも待ってる 夏休み
絵日記つけてた 夏休み 花火を買ってた 夏休み
指折り待ってた 夏休み
畑のとんぼは どこにいった あのとき逃がして あげたのに
ひとりで待ってた 夏休み
すいかを食べてた 夏休み 水撒きしたっけ 夏休み
ひまわり 夕立 セミの声

この時期になると、よくラジオなどから流れてくる、吉田拓郎の「夏休み」

にぎやかで華やかな夏が終わる頃、一抹の寂しさを覚えることって、誰でもあることです。そんな寂しさも、逆に楽しむことのできるゆとりを持ちたいものですね。